



2012年4月19日(木)
株式会社ボーネルンド

～ 子どもの遊びに関する母親の意識調査 ～

「遊びは重要」でも、遊ぶ環境は充分でない子どもたち

子どもの「遊び」に関する悩み、低年齢児の母親ほど顕著

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）では、4月中旬に1歳から4歳のお子様を長子に持つ全国の母親1044名を対象に、「子どもの遊びに関する母親の意識」についてインターネット調査を実施いたしました。

当社では、5月5日の「こどもの日」を、子どもの健全な成長について大人全員が考える日とすることを提案しています。今回はその一環として、子どもの遊びに関する母親の意識や実態をとらえるため、「子どもの成長にとって、遊ぶことの重要性」「子どもと遊ぶ際に困っていること」「子どもの遊びに関する情報源」「子どもと日常的に遊べる場所の数」「遊ぶ場所、時間や遊び相手」について調査しました。

【 調査概要 】

調査方法	インターネット調査
調査地域	全国
調査対象	1歳から4歳のお子様を長子に持つ20代から40代の母親
有効回答数	合計1,044サンプル（20代・30代：各468サンプル、40代：108サンプル）
調査時期	2012年4月中旬

【 調査結果のポイント 】

- 母親の「遊び」に関する意識
 - 母親の99.2%が子どもの成長に「遊び」が重要と回答しており、「勉強」や「習い事」と比べても、「遊び」の重要度に関する認識は高い
 - 一方で、69.2%の母親が、「子どもを遊ばせる際に困っていることがある」と回答。低年齢児の母親ほど、「遊び」に関して多くの悩みを抱えている傾向が明らかに
 - 60.6%の母親が、子どもが生まれる前に「遊び」についての情報が「充分でなかった」と振り返っており、当時の情報が充分でなかったと振り返る母親ほど、「遊び」について現在困っていることがある傾向が明らかに
- 子どもの「遊び」の実態
 - 子どもの遊び場所の数に大きな格差
 - 約半数が、3時間以上自宅の室内で遊んでいる
 - 平日は主に母親と、休日は両親と遊んでおり、子ども同士で遊ぶ機会はそれほど多くない

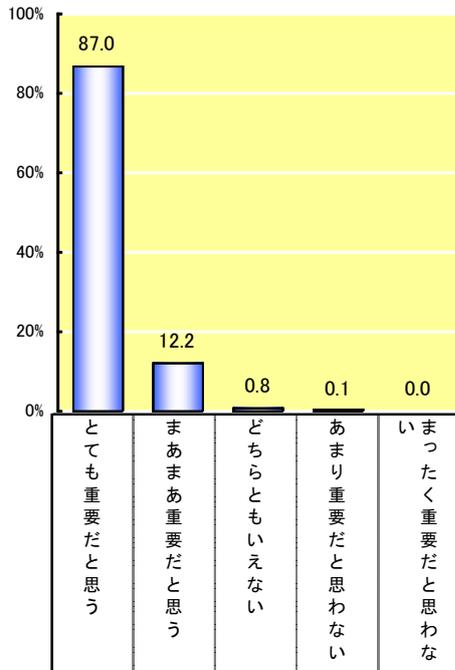
【 調査結果 (n=1,044)】

母親の遊びに関する意識

～圧倒的に高い「遊び」の重要性への意識～

Q. 子どもの成長にとって、「遊ぶこと」は重要だと思いますか

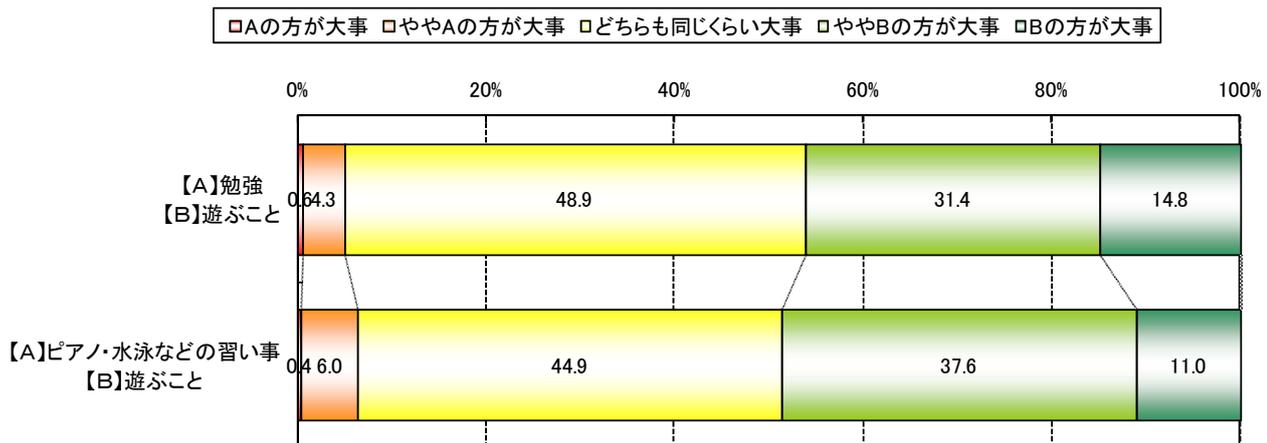
※「遊ぶこと」の定義として、テレビゲームや携帯ゲームは含まない



「とても重要」「まあまあ重要」合わせて、99.2%の母親が子どもの成長に「遊ぶこと」が重要だと思うと回答。「遊び」の重要性に対する意識が、非常に高いことがわかりました。

Q. 次の項目と比べたときに、「遊ぶこと」は子どもの成長にとってどのくらい重要だと思いますか

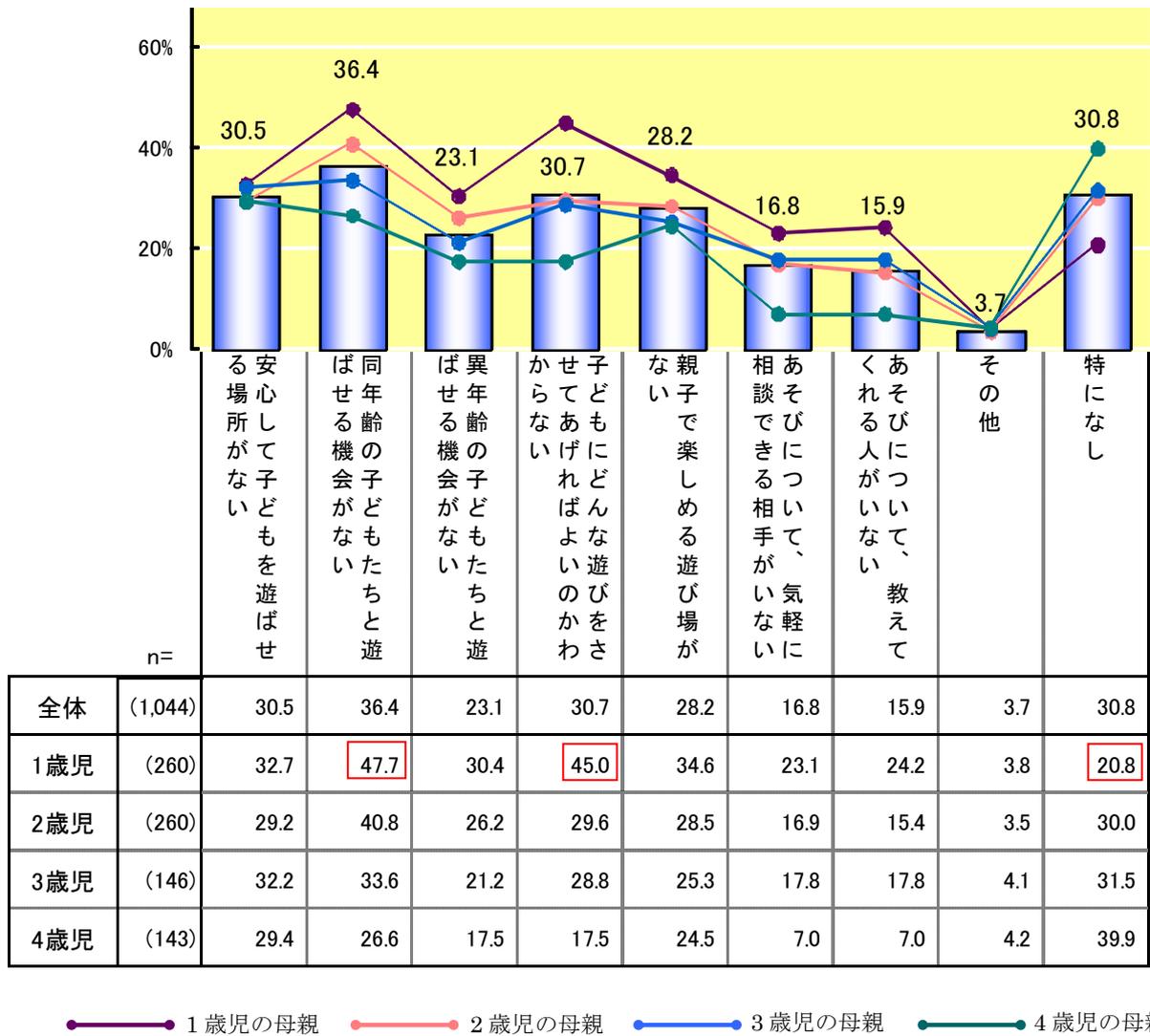
※「遊ぶこと」の定義として、テレビゲームや携帯ゲームは含まない



「遊び」と、「勉強」や「習い事」を比較した場合でも、「遊び」が大事であるとの回答が「どちらも大事」と同程度挙がり、他の活動と比べても、母親の遊びに対する意識の高さがうかがえます。

～7割近くの母親が子どもの遊びについて「困っていることがある」～

Q. お子様を遊ばせる際に困っていることは何ですか（複数回答）



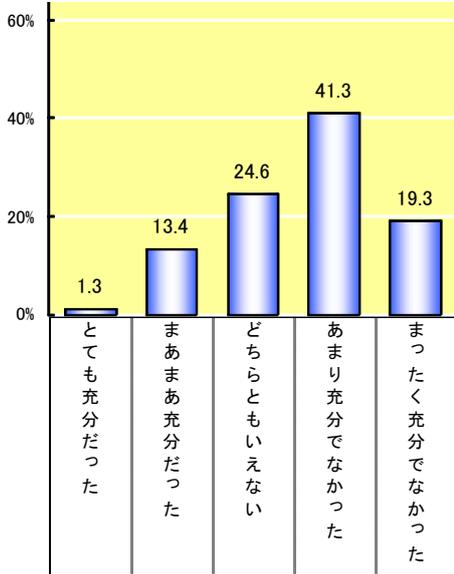
子どもを遊ばせる際に困っていることを尋ねたところ、ほぼ7割に上る69.2%の母親が遊びに関してなんらかの困っていることがある現状が明らかになりました。

回答の内訳を見ると、「同年齢の子どもたちと遊ばせる機会がない」(36.4%)、「子どもにどんな遊びをさせてあげればよいかわからない」(30.7%)、「安心して子どもを遊ばせる場所がない」(30.5%)が上位に挙がりました。子どもの年齢別で見た場合、1歳児の母親のおよそ8割(79.2%)が困っていることがあると回答しており、特に「同年齢の子どもたちと遊ばせる機会がない」(47.7%)「子どもにどんな遊びをさせてあげればよいかわからない」(45.0%)を困っていることに挙げる母親は、約半数に達しました。低年齢児の母親ほど、遊びに関して多くの悩みを抱えながら、子育てに取り組んでいる姿が浮かび上がってきました。

～「遊び」に関する情報、6割が「充分でなかった」～

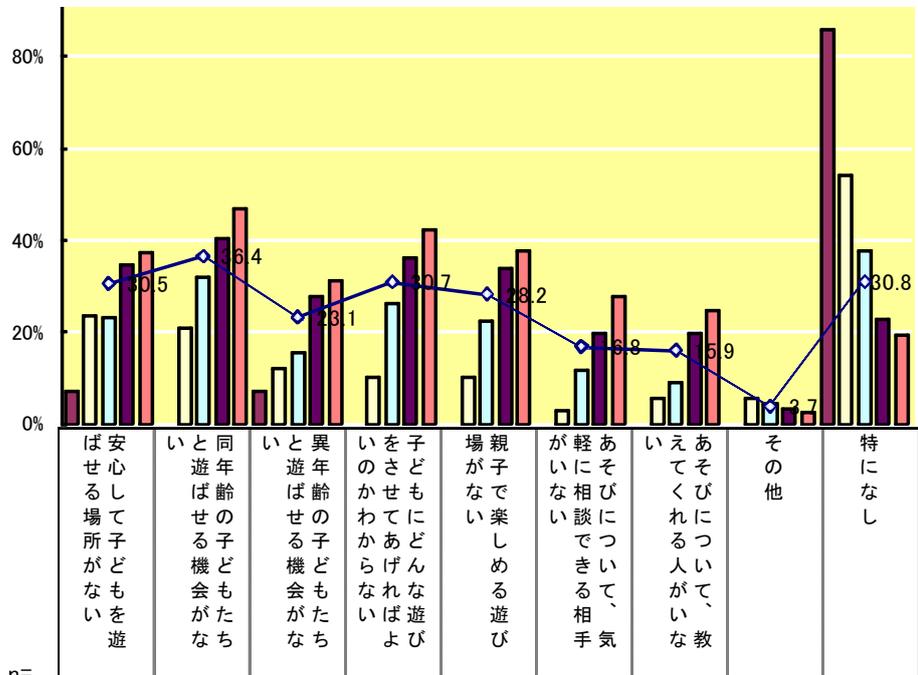
～情報が充分でなかったと回答した母親ほど、子どもの「遊びに」困っている傾向～

Q. お子様生まれる前に、「子どもの遊び」についての情報を得る機会は充分でしたか。



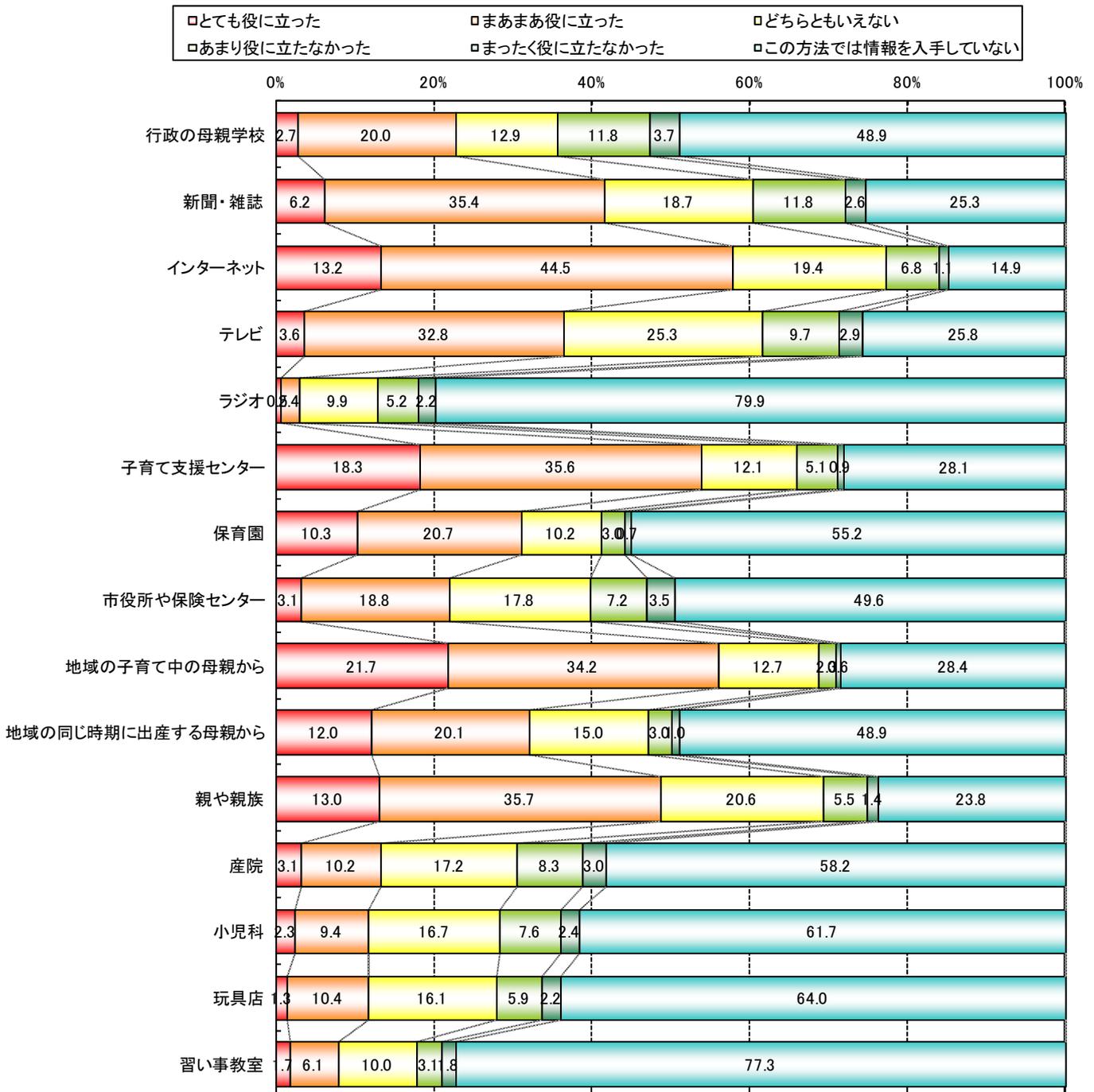
自身の子どもが生まれる前に、「子どもの遊び」の情報を得る機会について、「とても」「まあまあ」充分だったと回答した母親は 14.7%に過ぎず、反対に、「あまり」「まったく」充分ではなかったと回答した母親は、60.6%に上りました。

さらに、「子どもの遊び」の情報を得る機会が「まったく充分でなかった」と回答した母親の 80.7%、「あまり充分でなかった」と回答した母親の 77.3%が前頁の質問において「遊びについて何らかの困っていることがある」と回答しており、出産前に「子どもの遊び」を充分に入手できなかった母親ほど、子どもの遊びに多くの悩みを抱えている傾向も明らかになりました。



回答内容	不安心する場所がないを遊ぶ	いと同年齢の子どもの機会がたな	いと異年齢の子どもの機会がたな	いをのかわかれない遊び	子をのかわかれない遊び	場子が楽しめる遊び	が軽いな	あにそ	いえあてそく	その他	特になし
全体	30.5	36.4	23.1	30.7	28.2	16.8	15.9	3.7	30.8		
とても充分だった	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7		
まあまあ充分だった	23.6	20.7	12.1	10.0	10.0	2.9	5.7	5.7	54.3		
どちらともいえない	23.3	31.9	15.6	26.1	22.6	11.7	8.9	4.3	37.7		
あまり充分でなかった	34.6	40.4	27.8	36.0	33.9	19.7	19.7	3.5	22.7		
まったく充分でなかった	37.1	47.0	31.2	42.1	37.6	27.7	24.8	2.5	19.3		

Q. 「子どものあそび」についての情報はどのように入手しましたか。またそれはどの程度役に立ちましたか

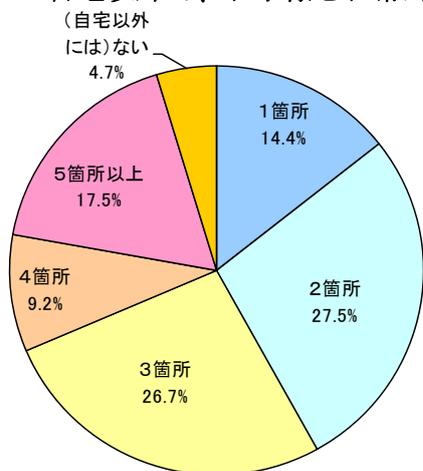


子どもの遊びに関する情報源を尋ねたところ、「インターネット」(85.1%)、「親や親族」(76.2%)、「新聞・雑誌」(74.7%)の順に回答が挙がりました。また、情報の有用度(『とても』『まあまあ』役に立った)の回答の合計については、「インターネット」(57.7%)、「地域の子育て中の母親から」(55.9%)「子育て支援センター」(53.9%)の順でした。「子どもの遊び」について、まずインターネットを利用して幅広く情報を集め、具体的な実践に向けては近隣の子育て支援センターや子育て中の母親から遊びに関する「生きた情報」を収集し、活用していこうとする母親の様子が見えてきます。

子どもの遊びの実態

～日常的な「遊び場所」の数に格差～

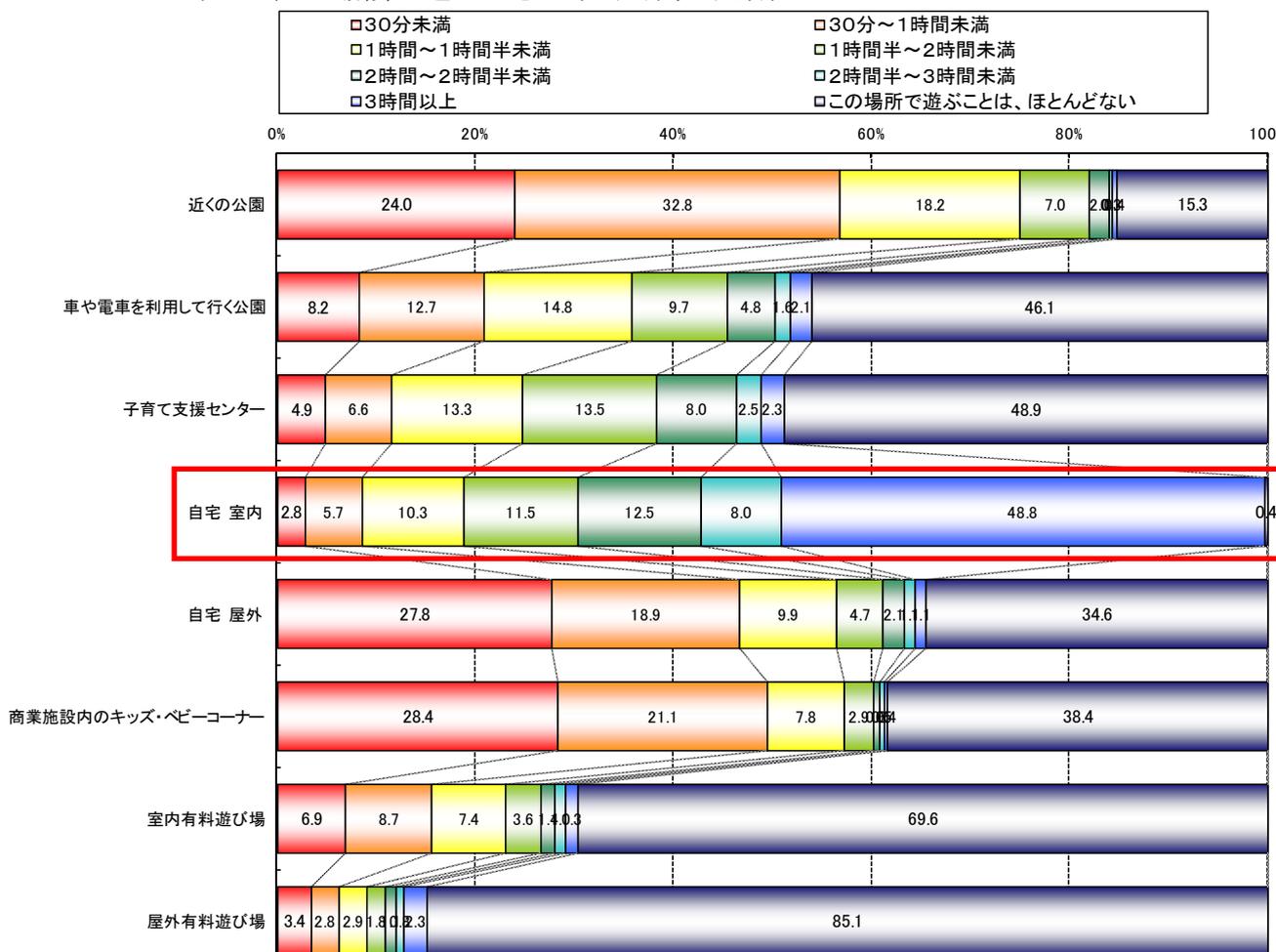
Q. ご自宅以外で、お子様と日常的に遊べる場所はどのくらいありますか



自宅以外の子どもの遊び場所については、「2箇所」「3箇所」の回答が合わせて54.2%と過半数を超える一方、自宅以外の日常的な遊び場が「自宅以外にはない」や「1箇所」しかないと回答する母親が、合わせて2割近くいることが分かりました。反対に、「5箇所以上」と回答する母親は17.5%に上り、子どもの日常的な遊び場所の数に格差があることが浮き彫りになりました。

～半数の子どもは3時間以上、自宅の室内で遊んでいる～

Q. お子様といつもどこで遊んでいますか。また、そこで遊ぶ時間が一日に占める時間はどのくらいですか（その場所で遊ぶときの平均時間を回答）



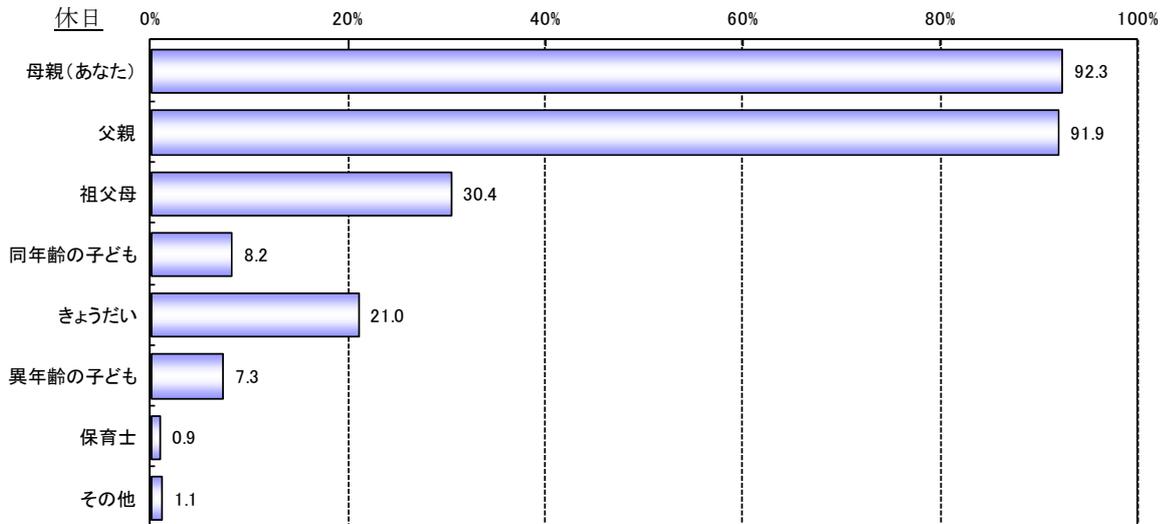
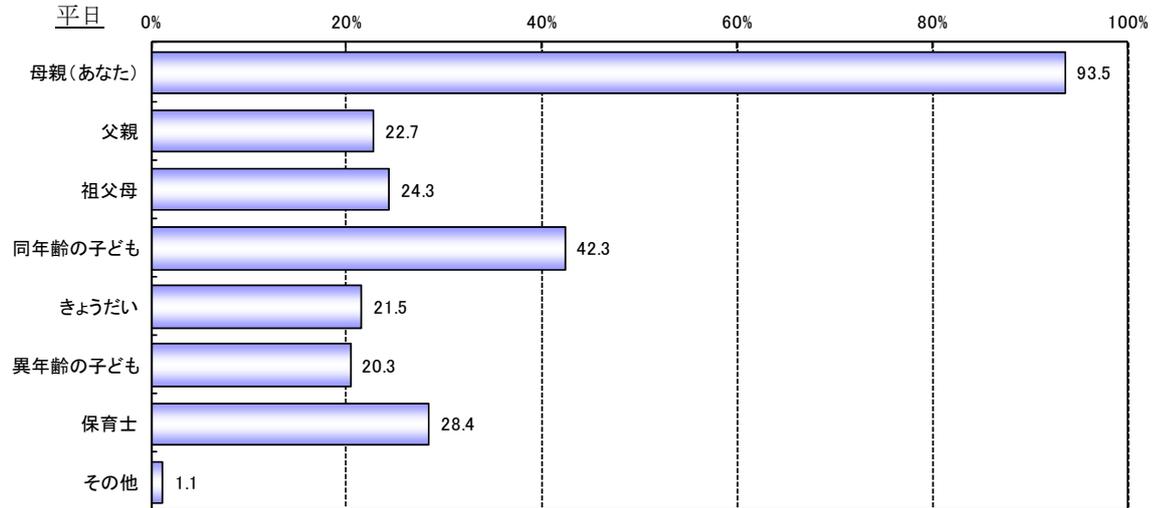
子どもとの遊び場所と、その場所で遊ぶ時間を場所ごとに尋ねたところ、ほとんどの母親（99.6%）が「自宅 室内」で子どもを遊ばせていました。さらに遊ぶ時間を見ると、約半数に上る48.8%が「3時間以上」と回答。多くの子どもが長時間、自宅の室内で遊んでいる状況が明らかになりました。

～主に母親と遊ぶ子どもたち。休日は父親も遊びに参加～

～同年齢の子どもと遊ぶ機会は、平日でも半数未満～

Q. あなたのお子様は、いつも誰と遊んでいますか。（複数回答）

※この質問での「休日」は、配偶者（父親）のお休みの日を指します。



子どもの遊び相手を尋ねたところ、平日、休日ともに「母親」の回答が9割を越えました。一方、平日は、2割ほどの回答である「父親」も、休日は9割を超えていました。常に子どもと寄り添う母親と、平日はなかなか時間が取れないながらも、休日には家族で触れ合おうとする父親の姿が垣間見えます。一方で、同年齢の子どもと遊んでいる子どもは平日でも半数以下（42.3%）で、子ども同士で遊ぶ環境が十分に整っていない現状も浮かび上がってきました。

今回の調査からは、ほとんどの母親が遊びを重要視している一方で、子どもの遊びについて、一緒に遊ぶ同年代の仲間がいないことや、遊ばせ方について悩みを持つ母親が多いことが明らかになりました。また、多くの子どもが、自宅の室内で長時間遊んでいることもわかり、遊びの重要性を頭では理解しているものの、遊ぶ場所や時間、仲間など、実際の遊びの環境は決して充分とはいえない状況が浮かび上がってきたほか、遊びに関する情報が、母親にとっては十分でない可能性も示唆されました。

今回の調査結果について、教育学を専門とし、自治体の子育て支援にも携わる明星大学教育学部教授の星山麻木先生は「親世代には同世代の子どもたちと群れながら自然の中で自由に遊んだ経験がある。年上や年下の子どもとも楽しく遊ぶためのルールを考え豊かな遊びを経験している親は、遊びの重要性を理解している。しかしながら、自身の子どもの外遊びに対しては、安全面での不安もあり、事実上、親子が孤立して室内で過ごすことがあたりまえの状態になっていることがわかる。多くの親が豊かな遊び環境を見つけられずストレスや悩みをかかえたまま過ごしているのではないだろうか。子どもの脳は、豊かな自然のなかで育つ。利便性を求める大人は、子どもから自然と遊びという豊かな環境を取り上げてしまった。子どもにとって遊びは生きることであり、心ある大人は、今こそ、子どものために、安全に過ごせる豊かな遊び環境を創ることにこそ、本気になるべき時ではないだろうか。」とコメントしています。

◇ご参考

ボーネルンドでは、「こどもの日」を中心としたゴールデンウィーク期間中、全国のボーネルンドショップや親子の室内あそび場「キドキド」において、親子や子ども同士で楽しめるイベントを実施し、子どもの健やかな成長をサポートしてまいります。

■ 家族で遊ぶ 10 日間！ボーネルンドのゴールデンウィーク

- ・全国のボーネルンドショップにて「あそび体験イベント」を実施

日程	タイトル	対象年齢	参加費
4/27(金)、28(土)、 5/3(木・祝)、4(金・祝)	アクアプレイで水遊び	2～5歳	無料
4/29(日)	家族対抗！ゲーム大会	4～5歳	無料
4/30(月・祝)	ステッカーを貼って鯉のぼりを作ろう！	3～4歳	300円
5/5(土・祝)	かんてんネンドでかしわ餅を作ろう！	2～3歳	300円
5/6(日)	ハマビーズ(アイロンビーズ)でカーネーションを作ろう！	5～6歳	300円

- ・全国のキドキドでは、5月5日（土・祝）のこどもの日に、いつもよりたっぷり遊んで欲しいとの願いを込めて、キドキド入場料を 10 分サービスします。

利用料金：通常、最初の 30 分 600 円→5月5日（土・祝）のみ、最初の 40 分 600 円

このほか、5月5日（土・祝）には、イベント「どれだけ大きくなったかな？ぺったん！手形をとろう」を実施いたします

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、“あそびの道具と環境”を提供することを通じて子どもの健全な成長に寄与するため、1981年に設立。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国84ヵ所で直営店舗を運営しています。また、同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万ヵ所まで拡大しています。2004年からは、子どものあそびの機会を増やすべく、親子で遊ぶ室内あそび場「キドキド」事業をスタート。昨年は年間140万人を超える親子が来場し、子育てをサポートする施設として機能しています。

≪報道関係の方のお問い合わせ先≫	
株式会社ボーネルンド 広報室 担 当：村上 T E L：03-5785-0860 / 080-5901-3591 E-mail：y-murakami@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担 当：古澤、山口 T E L：03-4580-9104 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
≪一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）≫	
株式会社ボーネルンド	TEL：0120-358-518